

被災地支援へ 職員2人派遣

A M D A

ネパール中部で起きた大地震を受け、国際医療ボランティアA M D A（本部・岡山市北区伊福町）は26日、

現地で緊急支援を行うため、マレーシアに設けている事務所の所長大政朋子さん（42）、看護師の柴田幸江さん（37）＝岡山市＝を派遣した。

A M D Aネパール支部から本部に入った連絡によると、首都カトマンズでは多くの家屋が倒壊。多数の住

民が屋外で夜を明かしている。道路の地割れなどで交通が乱れ、支部の医師も十分な活動ができていないという。

2人は26日午後、J R岡山駅から関西空港へ出発。大政さんは「情報を収集した上で、具体的な支援を進めたい」、柴田さんは「感染症対策が必要になるだろう」と話した。マレーシアのクアラルンプール経由で、カトマンズに27日昼ごろ（現地時間）入る見込み。

（平田桂三）



ネパールでの緊急支援のためJ R岡山駅を出発する大政さん（左）と柴田さん